

様式1

平成29年度 年度 事業評価書

評価対象期間	平成29年 10月～平成30年 3月分
施設名	鳥取市弓道場
指定管理者名	鳥取市弓道協会
指定管理期間	平成28年4月～平成33年3月
施設所管課名	鳥取市教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	聞取り	
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類	正職3名、嘱託1名
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	聞取り	利用者の指導・育成のための研修も受講
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取り	団体利用については適宜調整を図っている
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類	
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞取り	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	聞取り	鳥大留学生の体験受け入れ
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	現地確認	
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	書類	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	聞取り	自由参加の大会等のチラシ配布 施設窓への募集掲示
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類	職員が毎日実施(管理記録簿あり)
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書類	2回/週程度の頻度で実施(管理記録簿あり)
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	書類	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞取り	
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	聞取り	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	聞取り	節電、節水を徹底
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	現地確認	事務室のロッカーで保管
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞取り	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書類	就業規則等あり
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類	

確認する内容	指定管理者	施設所管課			
	自己評価	評価	確認方法	備考	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞取り	チラシの配布、フェイスブックの更新
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	現地確認	
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	聞取り	
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	書類	管理記録簿あり 夜間は機械警備
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類	マニュアル、連絡網あり

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 職員で出来ることは職員の手でを原則として、掃除、草抜き、芝刈り等を職員が行い、節電、節水等経費の節減に努めました。又、弓道協会会員の協力もあり、管理、運営は、無駄なく健全に行うことが出来たと考えています。引き続き経費の削減に努め、無理、無駄のない健全な経営を目指し、経費の余裕ができれば、弓道場の中長期の改善計画を考えて、利用者が練習しやすい弓道場の整備に使って行きたいと考えています。 職員がキャリアコンサルティングを受講し、頂いた補助金で、遠的安土場を改修しました。今後の遠的安土場の整備等の費用、手間などランニングコストが殆ど必要なくなると考えています。
施設所管課	引き続き指定管理業務を行っていくことが可能な経営状態であると判断するが、自主事業収入により黒字となっている状況もあるため、少なからず支出の抑制を図っていくことが必要であるとも考える。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業で計画をしていました。大会、弓道教室等は予定通り実施できたと考えています。H29年度からは、教室生徒、弓道協会会員のレベルに合わせた、初心者教室、合同練習会を実施しました。教室卒業生が弓道協会会員との交流の機会が増え、交流の機会を通して弓道を継続して頂いたため、少しずつですが利用者が増えてきていると感じています。 中学生教室は、中学弓道部顧問、生徒への指導を通して、中学校全体のレベルUPを行い、高校、一般へと継続して行くように充実させて行きたいと考え、中体連と相談しながら年間を通して実施しています。又、県連主催のジュニア育成講習会、審査前講習会を活用し、顧問の先生と生徒に対して講習会を実施しました。又、生徒指導、大会開催等に必要な基礎知識等の資料を作成し、中学校の顧問の先生に配布し活用していただいています。 HP、弓道協会会員による広報活動などで、経験者の弓道再開の問い合わせ等があり、弓道教室、体験会の問い合わせが増えていきます。又、市民体育祭の案内を兼ねて、大会(市長杯・因伯シルバー大会)の参加を各校区に呼びかけました。問い合わせは、ほとんどないのですが、広報を続けて行くことで少しずつでも、広がって行き、参加者が出来れば喜ばしいことと考えています。
施設所管課	既存の利用者の技術向上のための事業がしっかりと行われていると判断する。

4. 総括コメント

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 職員が経費削減に努めることにより、無駄な出費を控え、弓道場の改善等利用者の要望に応えることが出来たと考えています。今後も利用者が気持ちよく利用できるように、弓道場の整備、改善をしていきたいと考えています。 中学、高校、大学の弓道部に関わってきた職員の配置で、初心者、経験者を問わず、道場に來られた利用者や弓道に関する共通の話が出来ることは、來られた方にとって安心出来ることと考えていますので、HP協会会員のネットワークを拡げ、一人でも多くの方に弓道場に来て利用して頂きたいと考えています。 中学生教室、弓道場主催の練習会、中央講師招聘の講習会、中学、高校、大学への部外コーチ派遣等を行うことにより鳥取県東部の弓道レベルをますます高めて行きたいと考えています。今年度の男子国体選手候補者は、鳥取から男性6名、女性2名が選ばれ、鳥取、米子、県外へと強化練習に参加しています。 中央講師招聘の講習会は、鳥取市弓道協会主催の講習会(講師、日弓連主任講師、林 文夫範士、兵庫県連会長)、県連主催の講習会(講師、日弓連主任講師、本多政和範士全日本監督)が開催され、東部のみならず、鳥取県弓道のレベルアップに少しでも協力できたと考えています。 今年度は、松保公民館の耐震改修により、弓道場を利用して頂き、研修室、講師室の利用人数、利用料が増加しています。今年度は改修が終了しましたので、次年度は、利用料、利用人数とも前年度のレベルに戻ると考えています。
施設所管課	今後も利用者の技術向上を図っていただくとともに、引き続き、学校等とも連携を取りながら利用拡大を図っていただきたい。